

# 慈善の気持ち

## 上島大輔さん、ほうれん草を無償提供

新型コロナウイルス感染症の拡大をうけて、当地区でほうれん草を栽培している上島大輔さんは道内で一番被害を受けていると思われる札幌市の学生や海外留学生、シングルマザーなどを支援しています。

上島さんは知り合いのコンサドーレ札幌、荒野拓馬選手の友人である飲食店経営者の木村健太郎さんにほうれん草を無償で提供し、木村さんはそのほうれん草を使った料理を同じく無償提供し支援しています。今では支援の輪が広がり、札幌市内の10店舗以上の飲食店で、同様の活動が行われています。



日高郡新ひだか町静内で  
ほうれん草を栽培してる  
上島農園の  
代表かみしまさんから  
現在フードレスキューを  
している  
コンサドーレ荒野選手を介して  
困ってるの為に  
ほうれん草を使ってくださいと  
連絡をいただきました！  
そして本日届きました→

困ってる人に  
届けてほしい！

かみしま農園の  
かみしまさん

このかみしまさんの  
想いを受け  
代わりにぼくが  
届けていきたいと思えます

届けることが  
できる方がいらっしやれば  
ご紹介くださいませ

上島さんはハウス43棟でほうれん草を栽培しており、4kg箱で年間1万



ピビンバ



ほうれん草のお浸しなど、さまざま  
な料理に上島さんのほうれん草  
が使われています。

ケース以上出荷しております。また日高管内でほうれん草を出荷している全体の割合のうち、8割以上を占めており、全道でもトップクラスの出荷量となります。

栽培方法のこだわりとして土作りを重要視しており、何年もかけて作り上げたこの土をおかしくしてしまつては同じように戻すことができないとのことで非常に気を使っております。植物由来の緑肥を使用しており、作付け前のハウスの土はともふかふかして、ベッドのようです。この柔らかい土はとても水持ちが良く、優しく美味しい味わいのほうれん草の原点となっております。

また現在のほうれん草の市場価格は200gで120円程度と前年と比較し下落もなく良好に推移していることから、この慈善活動に対しての上島さんの強い気持ちを感じます。

上島さんは地元支援の取組みとして老人ホームや小学校などにもほうれん草を定期的に寄付して地元を支えております。

最後に、「このコロナ禍の拡大による自身の農園も今後どういった影響を受けるのか不安ではありますが生活に困っている人を助けたい、食の温かさで元気になってもらいたいという思いがあり、出来る限り支援していきたいです。」との思いを語って頂きました。